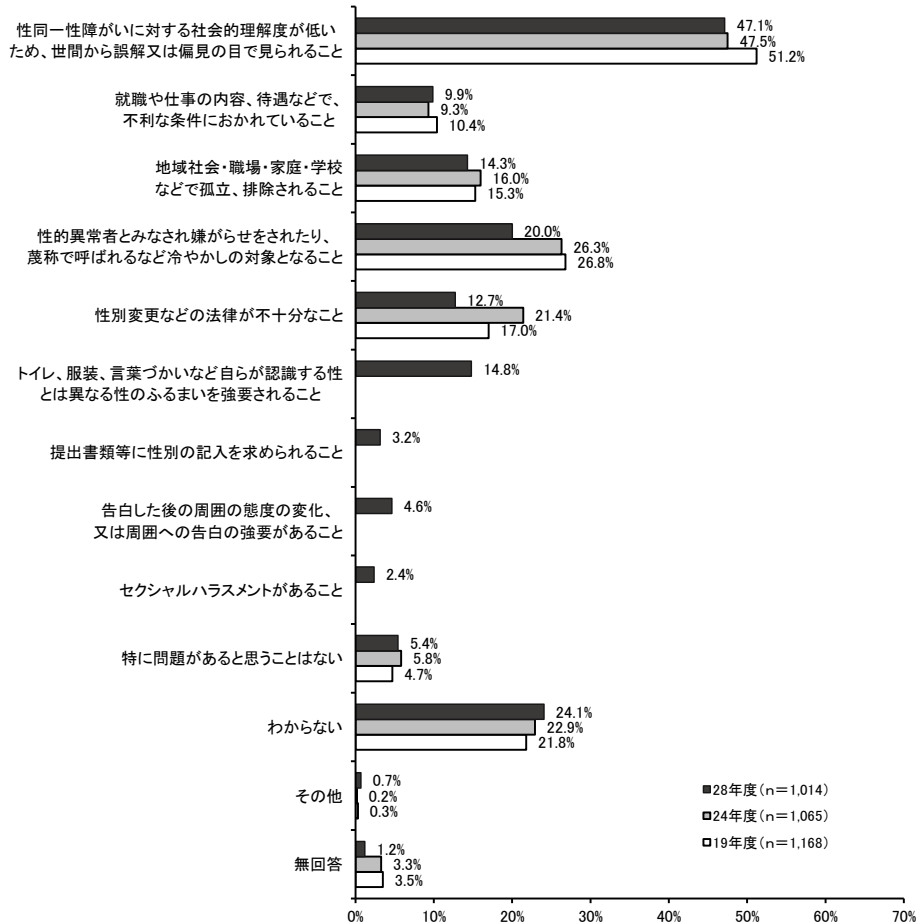


3-14 性同一性障がい等の性自認の異なる人の人権について

(1) 性同一性障がい等の性自認の異なる人の人権問題で、特に問題があると思うこと

問35 性同一性障がい等の性自認の異なる人の人権問題について、特に問題があると思うのはどのようなことですか。以下の中から2つまで選んで○をつけてください。



■「性同一性障がいに対する社会的理解度が低いため、世間から誤解又は偏見の目で見られること」が47.1%と最も高く、次いで「性的異常者とみなされ嫌がらせをされたり、蔑称で呼ばれるなど冷やかしの対象となること」が20.0%、「トイレ、服装、言葉づかいなど自らが認識する性とは異なる性のふるまいを強要されること」が14.8%の順となっている。

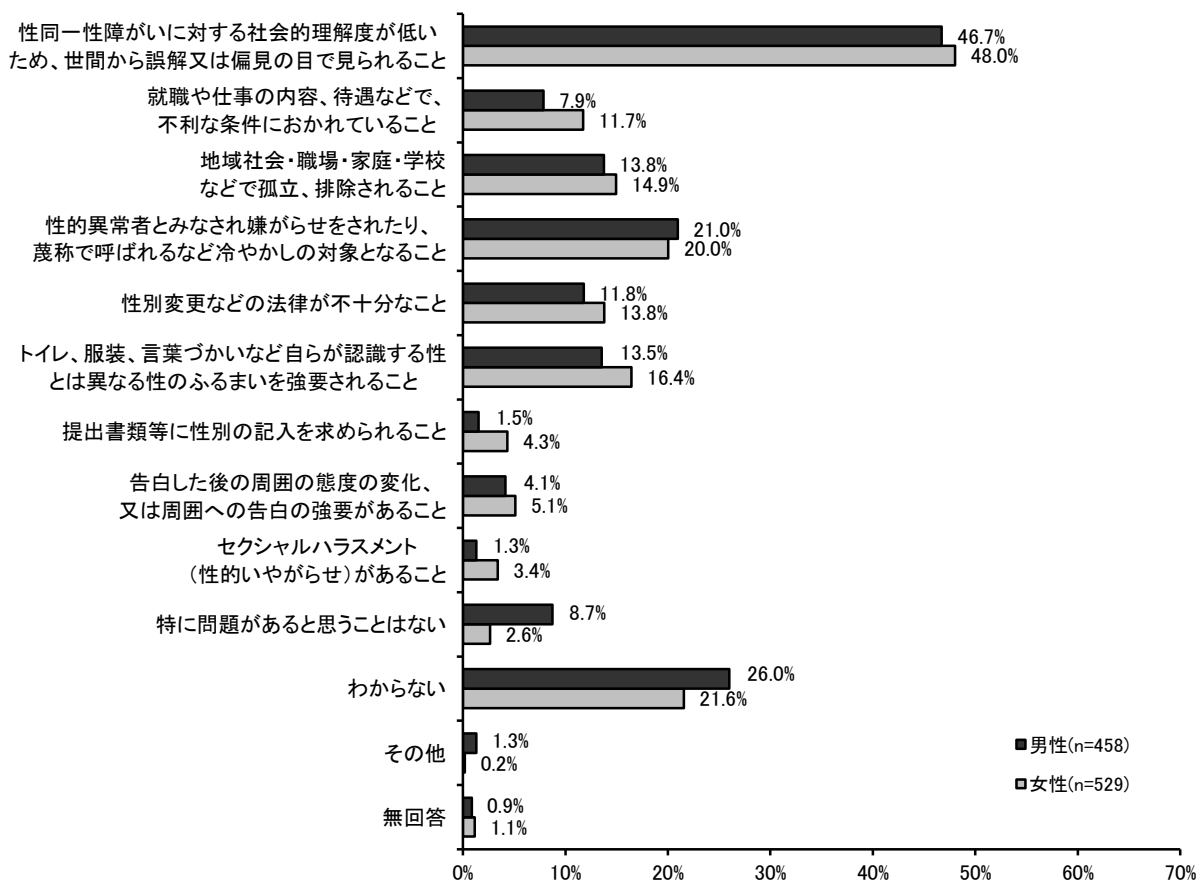
■「わからない」は24.1%と相対的に高くなっている。

【前回・前々回比較】

■「性別変更などの法律が不十分なこと」は前回より8.7ポイント、「性的異常者とみなされ嫌がらせをされたり、蔑称で呼ばれるなど冷やかしの対象となること」は6.3ポイント、更に前々回より6.8ポイント減少している。

※「トイレ、服装、言葉づかいなど自らが認識する性とは異なる性のふるまいを強要されること」「提出書類等に性別の記入を求められること」「告白した後の周囲の態度の変化、又は周囲への告白の強要があること」「セクシャルハラスメントがあること」の選択肢を追加したため、正確な比較はできない。

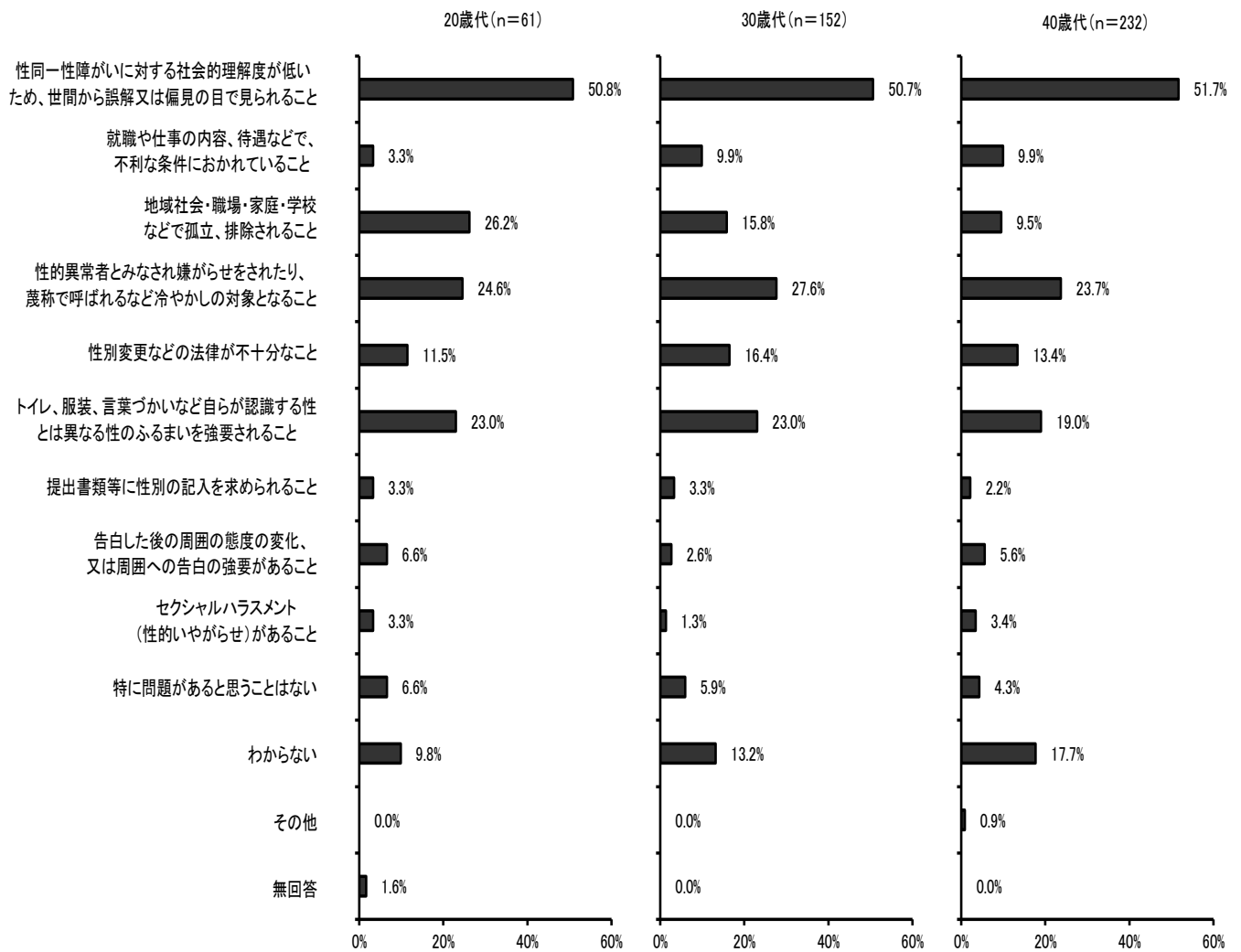
男女別

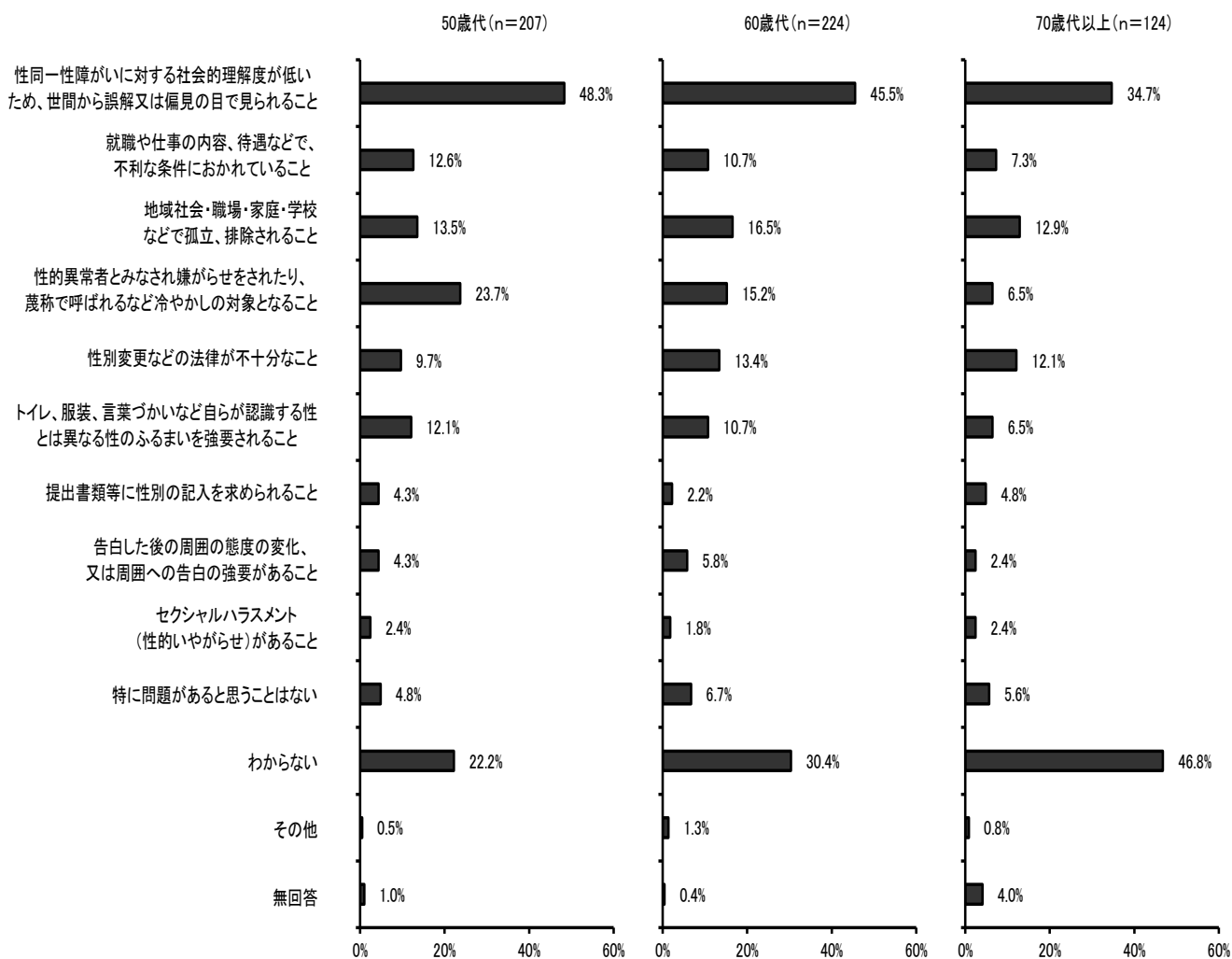


■「性同一性障がいに対する社会的理解度が低い
ため、世間から誤解又は偏見の目で見られること」
の割合は女性で高く、約5割となっている。

■「特に問題があると思うことはない」の割合は、
女性より男性が6.1ポイント高くなっている。

年代別

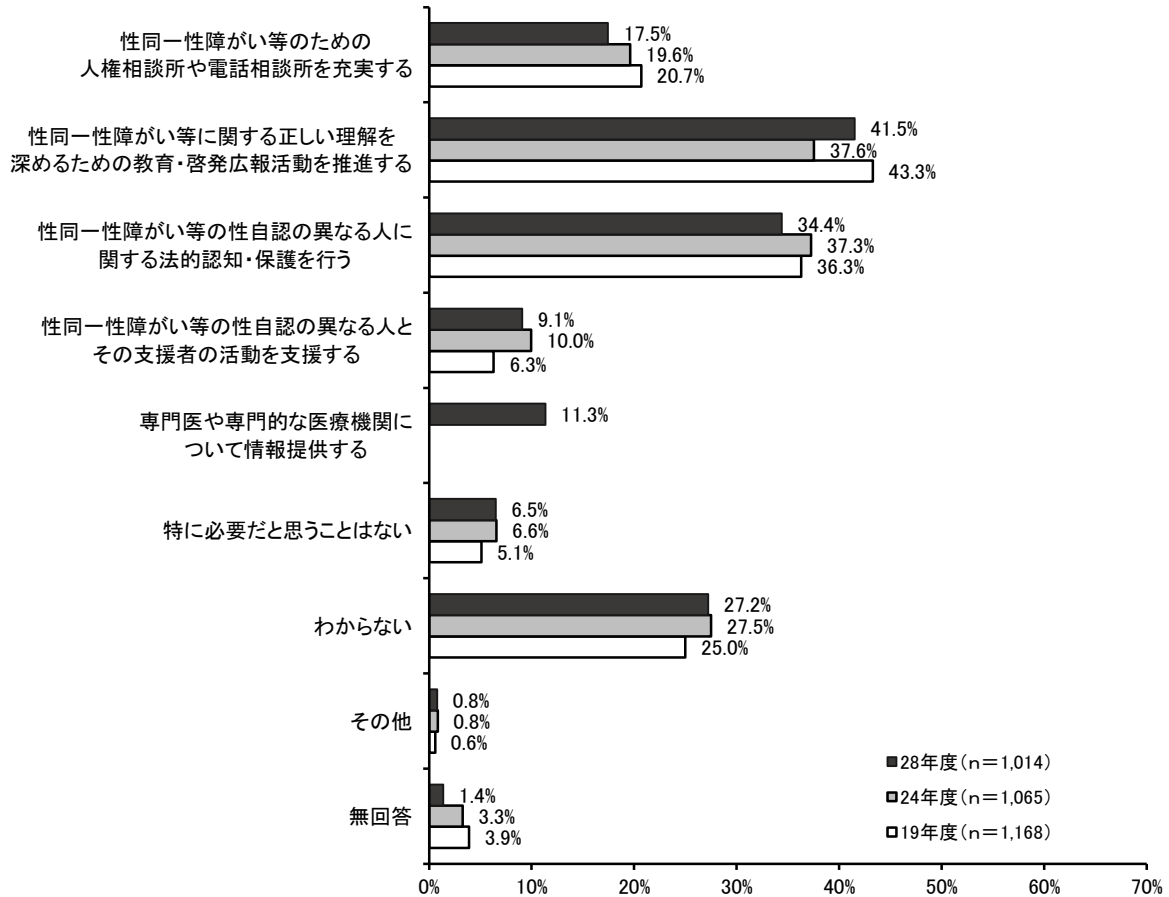




■ 「トイレ、服装、言葉づかいなど自らが認識する性とは異なる性のふるまいを強要されること」「性的異常者とみなされ嫌がらせをされたり、蔑称で呼ばれるなど冷やかしの対象となること」の割合は、若い年代ほど高くなり、「わからない」は、年代が上がるにつれて高くなる傾向がみられる。

(2) 性同一性障がい等の性自認の異なる人への人権問題を解決するために必要なこと

問36 性同一性障がい等の性自認の異なる人への人権問題を解決するためには、特にどのようなことが必要だと思いますか。以下の中から2つまで選んで○をつけてください。



■「性同一性障がい等に関する正しい理解を深めるための教育・啓発広報活動を推進する」が41.5%と最も高く、次いで「性同一性障がい等の性自認の異なる人に関する法的認知・保護を行う」が34.4%、「性同一性障がい等のための人権相談所や電話相談所を充実する」が17.5%の順となっている。

■「わからない」は27.2%と相対的に高くなっている。

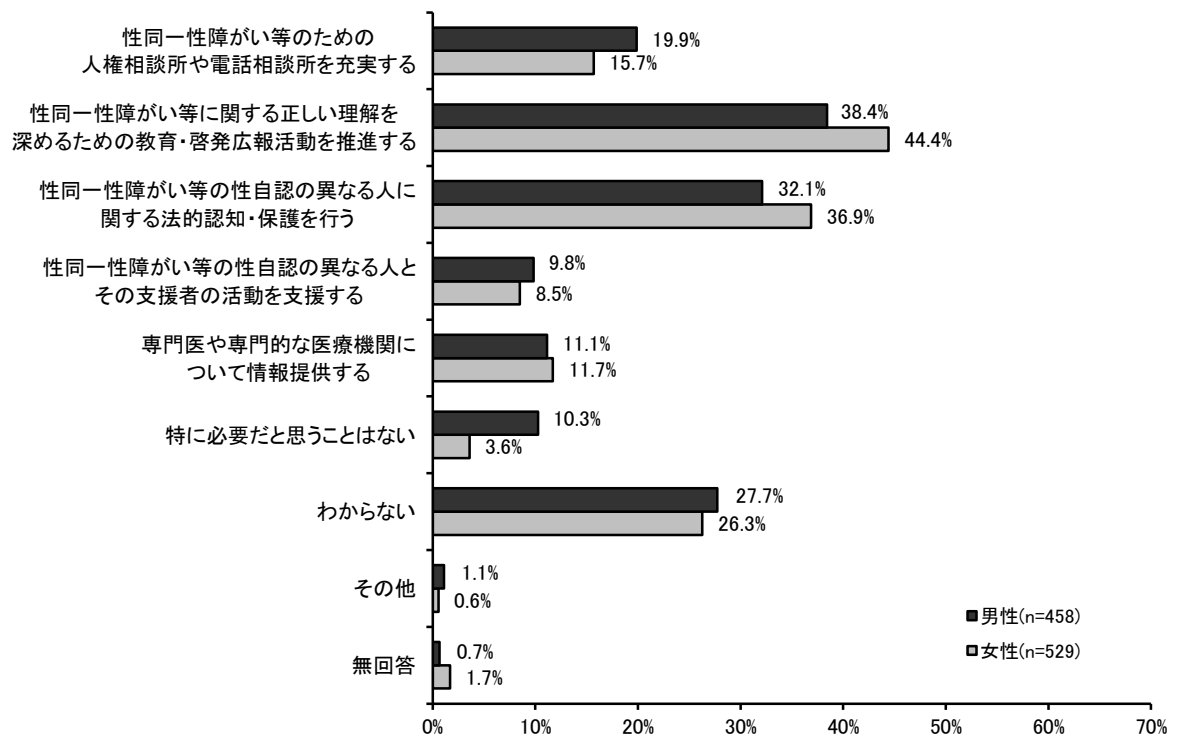
【前回・前々回比較】

■「性同一性障がい等に関する正しい理解を深めるための教育・啓発広報活動を推進する」は前回と比べて3.9ポイント増加しており、「性同一性障がい等の性自認の異なる人に関する法的認知・保護を行う」は2.9ポイント減少している。

■「性同一性障がい等のための人権相談所や電話相談所を充実する」は前々回と比べると3.2ポイント減少しており、「性同一性障がい等の性自認の異なる人とその支援者の活動を支援する」は2.8ポイント増加している。

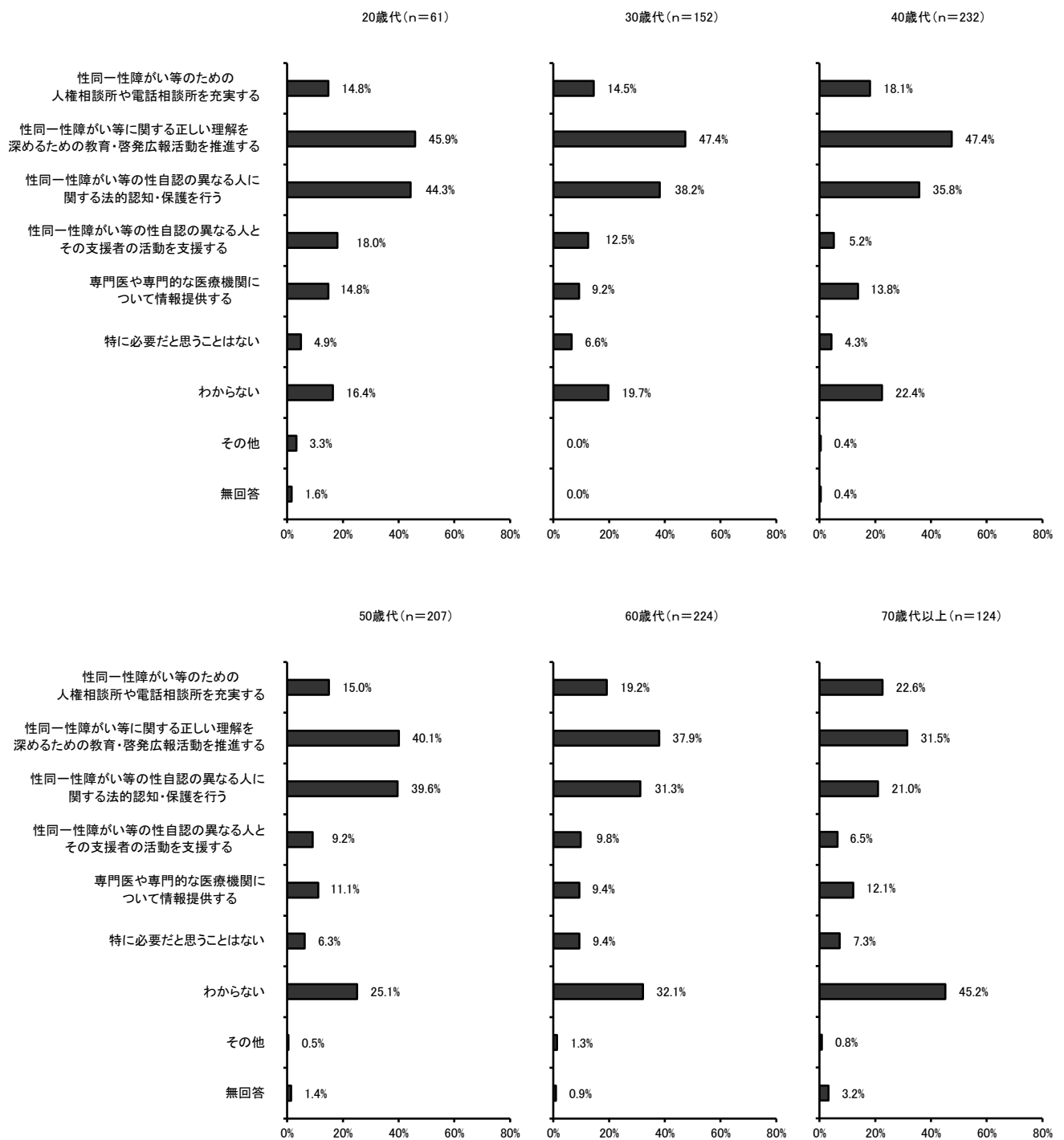
※「専門医や専門的な医療機関について情報提供する」の選択肢を追加したため、正確な比較はできない。

男女別



- 「性同一性障がい等に関する正しい理解を深めるための教育・啓発広報活動を推進する」の割合は、男性より女性が6.0ポイント高くなっている。
- 「特に必要だと思うことはない」の割合は、女性より男性が6.7ポイント高くなっている。

年代別



■ 「性同一性障がい等に関する正しい理解を深めるための教育・啓発広報活動を推進する」「性同一性障がい等の性自認の異なる人に関する法的認知・保護を行う」の割合は、若い年代で高くなる傾向がある。

■ 「わからない」の割合は、年代が上がるにつれて高くなる傾向がみられる。